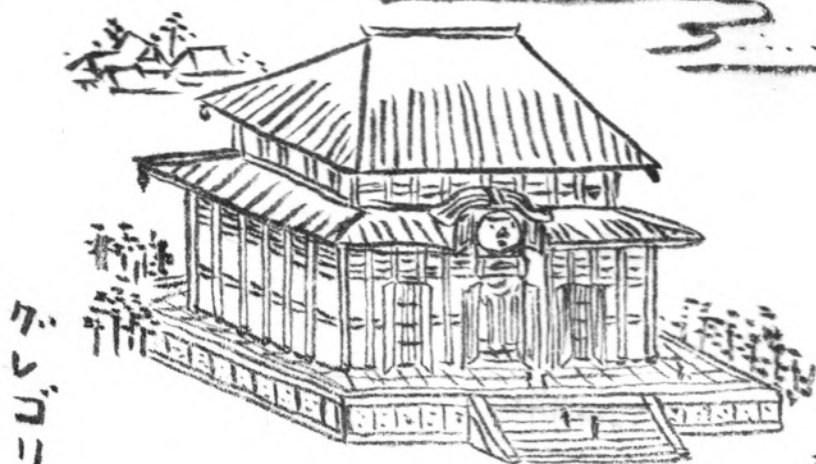


第一回
京博の敷地は
歴史の舞台
（大物登場）



カレゴリ青山



京都国立博物館

(略して京博)には昔から
ちくちく行っていた



明治30年に開館した

旧帝国京都博物館本館

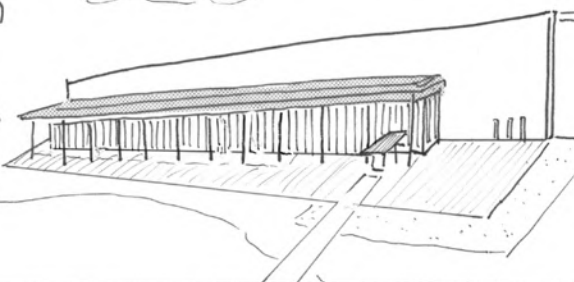
(現在の明治古都館)

平成26年に開館した
平成知新館のー

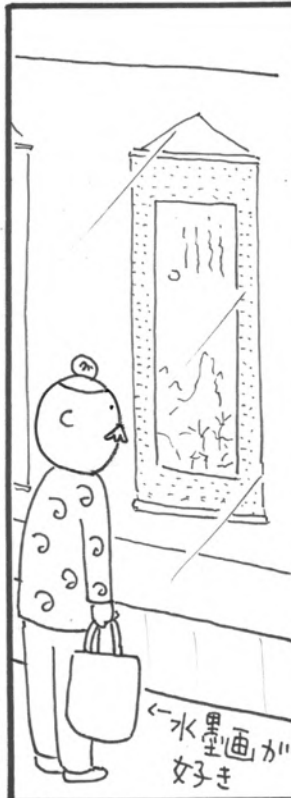
その前の
建物
の頃
からだ

平日の

常設展はガランとして



展示の絵をゆっくり見ることができたしー



水墨画が
好き

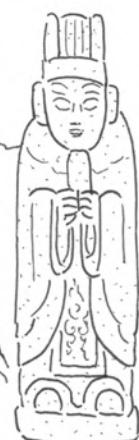
仏像室など自らが仏像を見るといろいろ

自令の方が

仏像に見られているような気がしたものだ



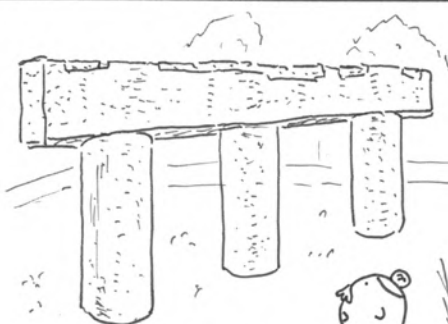
お天氣がいい日は広い庭園を
さんぽ



いわく
ありげな
石仏や
お地藏さん



顔も判別できない
限りなく「石」に近いお地藏さんたち



みたいた
五条大橋
橋脚・桁

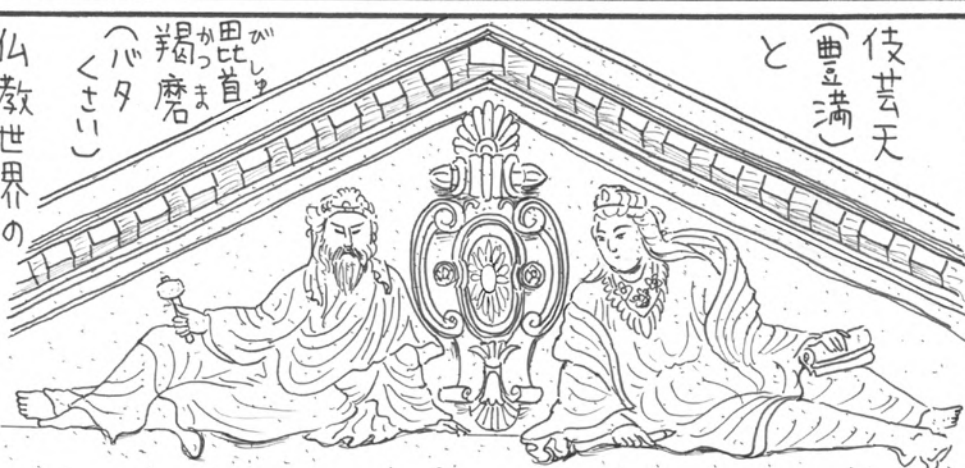
現代
アート?



なんだか
ナゾめいたものかいろいろある

何より好きなのは明治古都館の
屋根の三角のところにあられる

伎芸天
(曲豆満)



田比首
見かっま
羊磨
(ハタ
くさい)

仏教世界の
美術工芸の
神様だそう

噴水の近くに座りながら



お似合いのカップルみたい
彼らもながめているとー





いいッ気ッに満ちてるなあ



山水画の点景人物になつたみたい...

—な気分になつたものだ



—なので、京博を紹介するマンガを描いて”と依頼があった時は

もしかして

さあ

おいで

こんな私で...

いい”気

彼らが招いて下さった!?

と勝手に思ってしまった

(思い込み激しいタイプです)

実際招いて下さったのは京博副館長の栗原祐司さん

いやもうコロナで来館者減ってしまって...



たくさんの方に京博の魅力を

知ってほしいんですよ

モシャーン♡♡

トラりん♡♡

ちなみにトラりんは

京博公式キャラクター

まあトラりんはいすれ紹介するとして



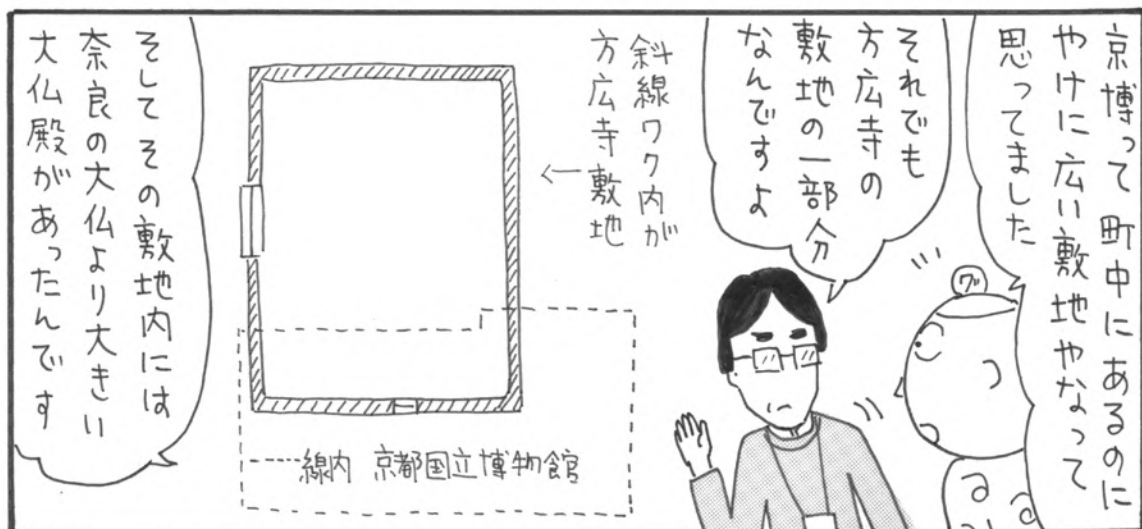
今回は京博の敷地と建物について紹介します

京博の敷地は方広寺というお寺の敷地だったのですよ

環境整備係長の

大西征爾です





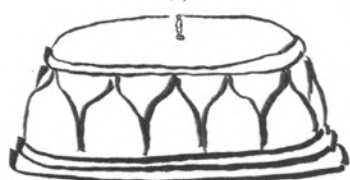
大地震で大仏壊れる



オマエは
自今で自今の
身も守れんのかい！
とハラを立てた
無茶だ...

秀吉は大仏のあったムロに座に

巨大なムロ座に
小さなご本尊



すると――

秀吉の体調悪化



ご本尊は
返送されるか秀吉亡くなる

その年慶長4年(1599年)
新たに大仏を



という事になりその3年後――

建造中の大仏から出火して



大仏殿炎上……

慶長13年(1608年)

秀頼殿
あきらめ
てはなり
ませぬ
家康の
秀吉の息子



大仏殿再建工事着工

慶長19年(1614年)大仙殿
完成するが、ともに造られた
林鐘に書かれた文字に



ワシを呪う
文字がある

家康が
イチャモンをつける(方広寺鐘銘
事件)これを引き金に――

慶長20年(1615年)大坂
夏の陣で

大坂城と



その後大仙は残ったが
寛文2年(1662年)――



破損した
大仙は
錆漬され銅銭に
なったという……



その後木像仏に作り替えられたが
寛政10年(1798年)火災度は



天保年間(1830?43年)大仙の
半身像と飯堂が再建される



またも火災で焼失ミ



以来大仙は再建されてない

――というのが

方広寺大仙殿の
歴史です――

